



# 図書館便り 8月号



東峰学園（中学部）梶原 弥生

暑い暑い夏休みも終わりました。夏休み期間中は長編を読むことが出来ましたか。まだまだ暑さが厳しいですが、2学期が始まりました。2学期は涼しく、本を読むには心地よい季節になります。図書館をたくさん利用し、想像したり、考えたりして、何かを感じ取れる本と出会ってほしいと思います。

## ～ 新 刊 案 内 ～

### 「ハヤブサ消防団」(池井戸 潤/著)

東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎は、地元の人々の誘いで消防団に入団することに。そこでは連続放火事件が待ち構えていて、のどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知ります。



### 「つる子さんからの奨学金」(まはら三桃/著)

ある日、曾祖母のつる子に呼び出されたわかばたち一家は、いとこの樹とともにつる子から高校の学費を援助するという提案を受けます。条件は今の実力よりも一つ上の学校を目指すこと。受験とバレー部の両立、親からのプレッシャーに悩みながらもわかばは、挑戦する面白さを感じていきます。



### 「保健室経由、かねやま本館。6巻」(松素めぐり/著)

「疲れたら、休んでもいいんだ。」かねやま本館で出会う子どもたちとの交流や温泉での休憩を通し、自分自身の悩みに向き合っていく心温まる物語です。第6巻では「かねやま新館」の存在が色濃くなっていきます。ふたりはどちらを選ぶのでしょうか。



### 「3分間サバイバル 突破せよ! 難関の迷宮」

迷宮入りの殺人事件、脱出不可能な危険な場所、切り抜けなければならない就職試験、負けそうな試合に助っ人を呼ぶ方法など岐路にたたされた局面を突破する方法が書かれています。



### 「5分後に意外な結末 亜麻色の糸で紡がれた物語」

あっという間に読めて、予想を裏切るどんでん返しあり！！ドラマ化された「隣に住む殺人鬼」、「荒らされた部屋」、「夫婦旅」「幸せのメロディー」など。朝の読書にもおすすめの1冊です。



### 「最近、地球が暑くてクマってます。」

レジ袋を有料化する程度では、地球温暖化の根本的な解決にはならない。では、どうすればいいのか？地球温暖化に向けて、シロクマがメッセージを送ります。

温暖化が起こる仕組みや温暖化対策についての解説も掲載されています。

### 「成瀬は天下を取りに行く」(宮島未奈/著)

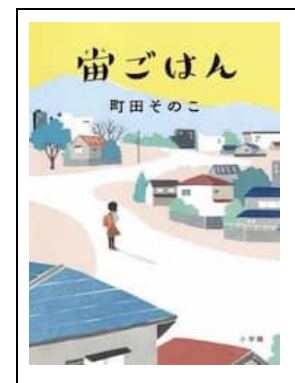
中学2年の夏休みの始まりに幼なじみの成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといふ。さらにM-1に挑み、実験のために坊主頭に・・・。



### 「宙ごはん」(町田そのこ)

育ての母と産みの母のふたりの母親に育てられた宙は、産みの母と暮らすことになりました。自分でごはんを作って食べることを通して成長していく姿を描きます。

目次には「ほこほこにゅうめん」や「とろとろポターージュ」など美味しそうなメニューが並びます。



### 「大ピンチずかん」(鈴木のりたけ)

のもうと思っていた牛乳がこぼれた。ガムをのんでしまった。テープのはしがみつからない。ゲームの充電ができていない・・・。

ピンチは何の前ぶれもなくやってきます。ピンチに出あうのをおそれるのではなく、どんなピンチがあるのかを知っておくと、どんなピンチもこわくありません。



### 「がっこうにまにあわない」(ザ・キャビンカンパニー)

いそげ！いそげ！8時までに絶対に学校に行かなくちゃ！7時47分、玄関を飛び出して走りだしました。でも水たまりには人食いワニが・・・。



### 「へそまがりの魔女」(安東みきえ)

暗い森に、年老いた魔女が住んでいました。人ざらいでへそまがりの魔女のもとに、ひとりの少女が訪ねてきました。帰るところがない少女は魔女と暮らし始め、魔女は、少女にいろいろなことを教えました。

